



交流する

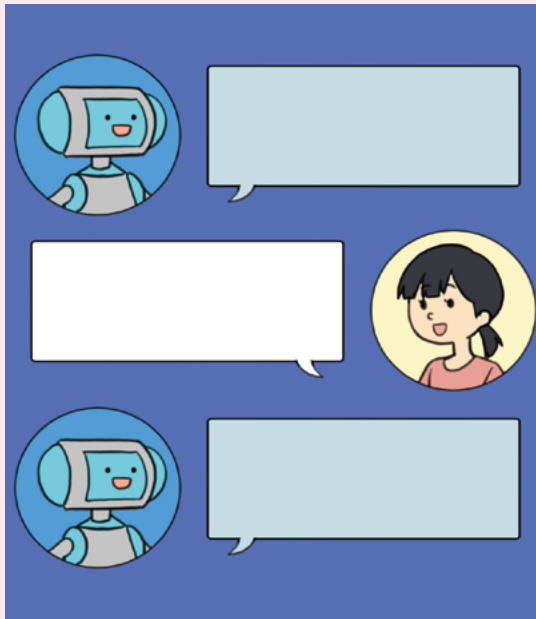
まとめ

よき使い手になるために

端末たんまつを使って「交流する」ためには、どんなツールが適てきしているのかを考えることが重要です。例えば、文字だけの交流ならばチャット、映像えいぞうでの交流ならばビデオ通話など、様々なツールを選えらぶことができます。もちろん、じっくりと議論ぎろんしたいときは、チャットではなく、対面の方が議論ぎろんしやすいこともあります。「交流する」ために、どの方法がもっともよいのかを考えてみましょう。

チェックしてみよう

- 私わたしは、上手にチャットを使うことができる
- 私わたしは、上手に話し合いを進めることができる
- チャットを使って議論ぎろんするときに、どんなことに気をつければよいかを説明できる
- 突然とつぜん、メッセージが表示ひょうじされたときに、あやしいかどうかを判断はんだんすることができる



最近、製品の使い方などを問い合わせたいときは、電話ではなくチャットで行うことが増えてきました。こうした問い合わせには、「チャットボット」と呼ばれる自動的に会話するプログラムが使われています。チャットボットは、「チャット」と「ロボット」を組み合わせた言葉で、問い合わせに対して、24時間365日いつでも対応してくれるようなサービスです。これからの社会では、人の手に頼っていた仕事の一部をチャットボットに任せることも増えてくるかもしれませんね。

調べてみよう

今後、どのような仕事の一部をチャットボットに任せることができるだろうか。

考えてみよう

現在、どのようなところで、チャットボットが使われているだろうか。